



伯耆町 農業委員会だより

令和7年1月発行 No.25



(撮影場所：伯耆町大平原地内 撮影時期：令和6年11月)

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆さま良き年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は能登地方で元日に地震があり、9月には地震の影響が残っているにもかかわらず大雨に見舞われるなど、大きな災害が発生した年でした。

また令和5年は稲カメムシが大発生し稲の収穫に少なからず影響が出ましたが、6年産米についてはカメムシ防除に対し支援が町から有り、影響が少なかったように思いました。

8月になると農地パトロールとして農業委員、推進委員が協力し各農地を確認しました。

昨年から改善された農地もありましたが、未改善の農地も少なからず見受けられました。またスーパーでは販売する米が足りなくなり、令和の米騒動と言われるほどニュースになりました。鳥取西部農協では米の概算金を前年より2,400円アップされ、これ以上の経費削減が難しい中で水稻農家は助かったのではないのでしょうか。

制度改正に目を向けますと、昨年4月には相続についての法改正があり、相続の権利を知ってから3年以内に相続登記を終えることになっています。

農地の利用権設定については、今年の4月から担い手育成機構を通して借りていただくようになりました。

また、4月までに10年先を見据えた目標地図を地域の皆さん、農業委員、最適化推進委員の協力で作成していきたいと思いますのでご協力をお願いします。

今年も農業委員、推進委員ともに頑張ってまいりますのでよろしく願いいたします。

最後になりましたが今年も良い年でありますようご祈念申し上げます。



伯耆町農業委員会長 加川 賢明

農地パトロール（利用状況調査）を実施しました

管内の農地の状況把握と農地法に基づく利用状況調査のため、令和6年8月24日に農地パトロールを実施しました。このパトロールは農地の実態把握と遊休農地の解消を目的としています。

また今後、農地パトロールで把握した遊休農地等について、農地法に基づき「利用意向調査」実施します。

利用意向調査とは、所有者の皆様が今後、農地の利用についてどのような意向をお持ちなのか確認するものですので、調査書類が届いた場合は提出をお願いします。



農地の貸し借りの手続きが変わります

農業経営基盤強化促進法の改正により、令和7年4月から個人同士の貸し借り（相対）がなくなり、中間管理機構（鳥取県農業農村担い手育成機構）を経由した契約に統一されます。

【令和7年度から】中間管理機構を経由した契約に一本化

○中間管理機構を経由した契約(促進計画)

地権者



鳥取県農業農村担い手育成機構



耕作者

○相対(集積計画)

※令和7年3月まで可能(経過措置)

地権者



耕作者

※令和7年3月までに設定された貸借は期間満了日まで有効です

これに伴い、相対（集積計画）の受付は令和7年2月20日で終了します。

全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞は、農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。2022年に創刊70周年を迎えました。

1週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなど幅広く伝えています。

毎週金曜日発行
購読料：新聞本誌
電子新聞
購読の申込み

B3版8～10項建
月700円（送料・税込）※電子新聞も閲覧可能
月500円（税込）※電子新聞のみの閲覧
伯耆町農業委員会事務局
※電子新聞の申込みは、全国農業新聞ポータルサイト「あぐりオンライン」で受け付けています。





コーナー「頑張る農家さん」

畜産農家 宮崎 大地さん 25歳（大平原）

小さいころから牛が好きで、北海道の大学で家畜繁殖学を学びました。卒業後は十勝の牧場で1年間、同じ伯耆町の義父の下で1年間、和牛の飼養技術を学び、今年の4月に独立就農しました。

和牛繁殖経営を行っており、現在までに8頭の雌牛を導入しました。妊娠牛で導入した牛は無事分娩が終わり来年の1月から随時出荷予定です。大学時代に取得した家畜人工授精師、移殖師の免許を活用し、1年1産を目標に日々管理をしています。

自給飼料の生産にも力をいれ、久古周辺の水田でイタリアンライグラスや飼料キビの生産に取り組んでいます。農業委員会の紹介で早期から水田を借りることができ、粗飼料を自給飼料のみで賄うことができました。また畦畔の草を天日乾燥させ、親牛に給与するなど費用を抑える飼養管理を実施しています。

多くの方々のおかげで長年の夢を叶えることができました。和牛情勢は大変厳しいですが北海道で学んだこと、伯耆町で学んだことをうまく牛飼いに生かしていきたいです。

今後は親牛15頭を目標に増頭していき、現在借りている水田周辺でさらに自給飼料の生産を拡大していきたいと思っています。



【経営状況】牛舎…岸本

○経産牛 6頭 ○未経産牛 2頭
○子牛 5頭



令和6年賃借料情報

令和6年1月1日から令和6年12月31日までの間に契約された各地域の10aあたりの賃借料の情報は次のとおりです。

10aあたりの賃借料

地区	平均(円)	最高(円)	最低(円)	備考
八郷地区	3,440	5,000	1,000	全データ128件のうち 物納なし 29件が無償貸借
大幡地区	2,782	10,000	1,000	全データ94件のうち 14件が物納 30件が無償貸借
幡郷地区	2,430	5,000	1,000	全データ132件のうち 8件が物納 23件が無償貸借
溝口地区	2,550	5,000	1,000	全データ154件のうち 27件が物納 82件が無償貸借
二部地区	3,000	3,000	3,000	全データ53件のうち 23件が物納 20件が無償貸借
日光地区	4,750	7,000	3,000	全データ21件のうち 物納なし 5件が無償貸借
伯耆町全体	2,921	10,000	1,000	全データ582件のうち 72件が物納 189件が無償貸借

※物納及び特殊な取引に係るものは金額に含んでいません。

～編集後記～

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

皆さんの身近な情報やご意見、ご感想がありましたら農業委員会事務局までお寄せ下さい。

身近な情報や紙面へのご意見ご感想などがありましたら事務局までお寄せください。

○広報委員 委員長 亀山 英登 委員 長谷川 幹子、池口 眞介、内田 康敏、坂田 良典
船森 恭彦、内藤 陽博、加川 賢明

農地に関する手続きの相談は、以下の農業委員会事務局までご連絡ください。

【本 庁 舎】2階 産業課農林室内 電話68-3315

【溝口分庁舎】1階 農業委員会事務局 電話62-0715